



ビワイチすごろく

ちすい れきし みち かいせつばん ～治水の歴史さんぽ路 解説版～

あめ ひと だいち うるお ゆた せいかつ あた おおあめ ふ さくもつ みの たはた たいせつ いえ だろみず
雨は、人と大地を潤し豊かな生活を与えてくれます。しかし、大雨が降ると作物が実る田畑や大切な家が泥水に

つ 浸かったり、時には流され、ひと々を苦しめてきたこともありました。
びわこしゅうへん には、ひと々が力強く洪水に立ち向かい生き抜いて来た苦勞のお話 が沢山あります。その一部を
しょうかい わかし ひと とりくみ か 紹介し、昔の人の取組を振り返ってみましょう。

せたがわあらいげき おおつし 瀬田川洗堰 (大津市)



せたがわあらいげき びわこしゅうへん こうずいぼうぎょ かりゅうじがわ
瀬田川洗堰は、琵琶湖周辺の洪水防御、下流宇治川・
よどがわ こうずいりゅうりょう 淀川の洪水流量の低減、琵琶湖の水位維持、下流への
ようすいほきゅう せきそうき おこな 用水補給を堰操作により行っています。現在の
せたがわあらいげき しょうわ ねん うんよう 瀬田川洗堰は昭和36年より運用されています。

とりいがわりょうすいひょう おおつし 鳥居川量水標 (大津市)



とりいがわすい いかんそくじょ めいじ ねん じんぎし
鳥居川水位観測所は、明治7年にオランダ人技師のエ
ッセルの指導によって瀬田の唐橋の近くに開設され、
びわこ すいいかんそく じょ 琵琶湖の水位観測が始まりました。

ふじもとたろう べ え おやこさんだい いぎょう たかしまし 藤本太郎兵衛親子三代の偉業 (高島市)



え ど じ だ い ふかみぞむら げんざい たかしまし しんあきひちやう しょうや
江戸時代、深溝村(現在の高島市新旭町)の庄屋さ
んだった藤本太郎兵衛さんは親子三代にわたり、琵琶湖
のまわりで田畑が水に浸かって苦しむ人々を救うため
「天保の御救大ざらえ」と呼ばれる大事業を行いました。

ふかさかじぞうそん ながはまし 深坂地藏尊 (長浜市)



へいあんじだい たいらのきよもり きやう みやこ ほくりく ぶつし ほこ
平安時代、平清盛は、京の都へ北陸の物資を運ぶ
ほうほう びわこ つるがわん すいろ む けいかく た
方法として琵琶湖と敦賀湾を水路で結ぶ計画を立てま
したが、大変難しい工事で岩を掘る人は悲鳴を上げ、山
から出てきたお地藏さんをおまつりし工事を止めるこ
とになりました。

にしのすいどう ながはまし 西野水道 (長浜市)



え ど じ だ い よごわ こうずい あふ いえ たはた みず つ
江戸時代、余呉川から洪水が溢れ家や田畑が水に浸か
り人々は困っていました。人々を救うため、硬い岩の山
を人の手で掘り抜き琵琶湖へ洪水を流す西野水道が
造られました。

ひこねじょう ほり ひこねし 彦根城の堀 (彦根市)



え ど じ だ い ひこねはんしゅ ちから とのさま ぼくふ えら
江戸時代、彦根藩主は力がある殿様で、幕府の偉い
さんも気をつかわなければなりません。瀬田川の川ざら
えはお城の堀の水位が下がりが攻撃を防ぐ力が弱まるこ
とからなかなかお許しが出ませんでした。

みょうこうじ すいてんひょう ひこねし 妙光寺の水天標 (彦根市)



めいじ ねん びわこ だいいこうずい きろく わたしたち つた
明治29年の琵琶湖大洪水の記録を私達に伝えるた
め水天標が残されています。琵琶湖岸から数キロ
離れたこの場所で、左下の石柱の上まで浸水した大変
な大洪水の記録です。

やすがわほうすいろ やすし 野洲川放水路 (野洲市)



やすがわ びわこ なが こ さいだい かせん わかし こうずい
野洲川は琵琶湖に流れ込む最大の河川で、昔は洪水
を繰り返す川で人々を苦しめてきましたが、昭和55年
に野洲川放水路が通水しました。

さいこうじ すいてんひょう おおつし 西光寺の水天標 (大津市)



めいじ ねん びわこ だいいこうずい きろく わたしたち つた
明治29年の琵琶湖大洪水の記録を私達に伝えるた
め水天標が残されています。瀬田川の直ぐ近くで人の
背丈以上に浸水した大変な大洪水の記録です。

だいにちやま おおつし 大日山 (大津市)



せたがわ なが よ せたがわあらいげき ならじだい やま けず
瀬田川の流れを良くするために奈良時代から山を削
ることが考えられ、瀬田川洗堰が琵琶湖水位を調整
できるようにして明治時代に一部が切り取られました。

むかえふ どうえんてい おおつし 迎不動堰堤 (大津市)



にちらんゆうこう しゅうねん きねん にほん きんだいさぼう はじ
日蘭友好400周年を記念して、日本の近代砂防の始ま
りにオランダ人技師の指導により建設された砂防ダム
のデザインを取り入れて建設されました。砂防事業によ
り瀬田川への土砂流入が大幅に減少しました。

みず かん びわ 水のめぐみ館アクア琵琶



みず 水のめぐみ館アクア琵琶は、琵琶湖の水位管理を行っている瀬田川洗堰の役割や現在工事が最盛期の天ヶ瀬ダム
さいかいほつじぎょう びわこ さいぼう のことなど色々なことが、模型や体験で学べる施設です。さらに、雨たいけん室
は世界一の降雨を体験できます。家族皆さんで是非お越しください。